

2013年(平成25年)度第4回常務理事会記録

日 時：2013年(平成25年)6月8日(土) 10:10~13:00

場 所：東京医科歯科大学 MDタワー18階 小会議室

出席者：河田光博(理事長)、寺田純雄、仲嶋一範、藤本豊士、渡辺雅彦(以上常務理事)、阪上洋行、竹田 扇(以上常任幹事)、天野恵子、中村 聡(以上、口腔保健協会)

I. 会議記録の確認

2013年(平成25年)度第2回常務理事会(平成25年3月27日開催) 記録(案)

2013年(平成25年)度第2回理事会(平成25年3月27日開催) 議事録(案)

2013年(平成25年)度定時社員総会(平成25年3月29日開催) 議事録(案)

2013年(平成25年)度第3回常務理事会(平成25年3月29日開催) 記録(案)

2013年(平成25年)度第3回理事会(平成25年3月29日開催) 議事録(案)

II. 報告事項

1. 庶務報告(渡辺庶務担当理事)

(1) 会員異動報告

平成25年3月分(入会者 正会員3名、学生3名、退会者 正会員 26名、学生2名、賛助会員1社、代議員2名)

平成25年4月分(入会者 正会員4名、学生6名、退会者 正会員 6名、学生1名)

平成25年5月分(入会者 正会員4名、学生4名、退会者 正会員 1名)

逝去会員

該当者なし

(2) 学会宛文書類について

① 通知・依頼：公益財団法人内藤記念科学振興財団より「2013年度新任選考委員決定のご報告」他37件の通知・依頼あり。

② 書籍・定期通信等：NPO医学中央雑誌刊行会より「医学中央雑誌収録誌目録2013」他19件あり。

(3) 平成25年度支部学術集会開催予定について

資料に基づいて説明があった。

(4) 各種委員会報告について

資料に基づいて説明があった。

(5) 一般社団法人への移行申請について

資料に基づいて説明があった。今後の4年間に閣府に公的目的支出内訳を報告する義務があること、文京区弥生町の倉庫の財産の整理、電話回線の移転等に関して報告があった。

(6) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づいて説明があった。大規模アンケートの実施とその結果報告を中心とするシンポジウム企画について報告があった。

(7) 日本外科学会ガイドライン検討委員会報告

報告書の提出があった2校について、資料に基づいて説明があった。

(8) その他

特になし。

2. 編集報告(藤本編集担当理事)

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定

資料に基づいて説明があった。

(2) ASIの購読状況について

資料に基づいて説明があった。Springerから解剖学会への入金額が年々増加していること、さらに収入を増やすための方策についてSpringerの担当者に意見を聴く必要があることなどが報告された。

(3) 解剖学用語委員会委員の増員と解剖学用語・意見の募集について

資料に基づいて説明があった。2007年の用語集刊行から6年経ったので、歯学部関係者を入れて新たに改訂作業を行なうことが紹介された。

(4) その他

新任教授の解剖学雑誌への抱負掲載に関して、種々の意見交換が行なわれた。

3. 企画・渉外報告（仲嶋企画・渉外担当理事）

- (1) 平成25年度奨励賞・解剖組織技術士功労賞候補者の募集について
資料に基づいて説明があった。
- (2) 平成25年度一級技術士資格試験について
資料に基づいて説明があった。近年は毎年鶴見大学歯学部を会場として実施されてきたが、今後は解剖組織技術士資格審査委員会で試験の負担を分担する方向で検討中のため、平成25年度については、試験内容等の確認のため解剖組織技術士委員会委員長、ならびに同試験委員長が立ち会う予定である旨の報告があった。
- (3) 解剖組織技術士資格審査委員会メール会議報告
資料に基づいて説明があった。この資格の名称変更が問題となっていたが、今後は「解剖組織技能士」という名称で委員会案としては確定したことが報告された。また、現在申請中の案件、推薦人の取り扱いに関して意見交換と説明があった。
- (4) 第119回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づいて報告があった。
- (5) 日本脳科学関連学会連合報告
資料に基づいて説明があった。次回の評議員会については、岡部前理事の他に仲嶋理事が出席予定であることが報告された。
- (6) 生物科学学会連合報告
資料に基づいて説明があった。日本版NIH構想に関する解剖学会の立場とその背景に関して説明があり、種々の意見交換が行なわれた。また高校等の生物学教科書の語句や記載の不統一の問題、及びポストク問題に関して説明があり、情報・意見交換が行なわれた。
- (7) その他
特になし。

4. 会計報告（寺田会計担当理事）

- (1) 第118回全国学術集会・総会収支報告
資料に基づいて説明があり、同大会会計が黒字となったことが報告された。
- (2) 平成25年度中間決算書について
資料に基づいて説明があった。現時点で執行率の高い項目に関してその理由が説明された。名簿積立金関連では、次期刊行に向けてそろそろ準備が望ましい旨提案があった。
- (3) 本会計と振興会会計の統合について
振興会会計の本会計への移算について資料に基づいて説明があった。
- (4) その他
特になし

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について
全員異議なく承認された。新任教授の代議員就任に関して報告があった。
2. 2017(平成29)年度総会・全国学術集会担当校について
問い合わせがあったことが報告された。
3. 第23回国際形態科学シンポジウムに対する日本解剖学会の後援について
本件の後援に関して種々の意見交換がされたあと、解剖学会としては予備費もしくは積立金から10万円を拠出することを決定した。これに関連して同シンポジウムの事務局よりプログラムを送付して貰うこととした。
4. 解剖学実習標本に関する個人情報保護の問題について
学生による実習関連の標本の電子情報化とその防止に関する説明があった。これに関して は教育・若手育成委員会に検討を委ねることとした。著作権に関しても様々な意見交換や議論があったが、今回は実習標本の個人情報保護に限って議論を行うこととした。
5. 外科手術手技研修に関するアンケート調査について
アンケートに一部修正が必要であること、回答は大学単位で行われることが説明され承認された。
6. 解剖学教室と外科臨床手術手技トレーニングに関するワークショップ開催について
種々の意見交換を行ったあとで、倫理委員会、解剖体委員会の共同提案で開催することを決定した。
7. 雑誌「学術の動向」について
購読に関して意見交換が行なわれ、今年度は継続することが承認された。また財団の実態を調査

- し、次年度以降の継続可否の判断の際に参考にすることを決定した。
8. 技術士法と解剖組織技術士の名称について
「技能士」という名称への変更が提案された。文科省に内諾を得てから理事会に提案することとした。
 9. 定款改正と臨時社員総会開催について
定款改正に関する臨時社員総会を11月30日に開催することを決定した。会場は昭和大学を予定しているが関係者に確認をとってから最終決定することとした。
 10. 文科省の若手科学者賞の解剖学会推薦について
今年度は準備期間が不足しているため推薦を見送ること、来年度以降に関しては対象と資格の双方から選考することを視野に入れて基準を策定していくこととした。
 11. 委員会による全国学術集会WS開催等にかかわる補助について
10万円を上限として開催補助を行うこととした。その条件として、①解剖学会員が共有する問題に関する、時宜に適したテーマのワークショップ・シンポジウムであること、②補助費の使途が、非学会員を講師として招聘する際の宿泊交通費等、その企画に必要な最小限のものであること、③上記の①、②について常務理事会が適切であると認める企画であることとした。
 12. ホームページリニューアルと英語版作成について
英語版ホームページ掲載予定項目について資料に基づいて説明があり、項目の内、入会案内は事務局へ直接問い合わせを指示する記載とする提案を加えて承認された。また、情報技術委員会提案のスマートフォン対応日本語版ホームページ改定案が承認された。日本語版ホームページの項目の再整備等、更なる改訂に関しては事務局とも協議の上、継続審議とした。
 13. 日本版NIH構想に対する意見書に対する解剖学会の対応について
基本的に生科連の方針に同調したかたちで解剖学会も態度表明を行うこととした。その上で生科連のその後の動向を見極めながら継続審議とすることを決定した。
 14. その他
 - (1) 第3回常務理事会で継続審議となっている、将来計画WG提案の実行、に関して具体的な取組みを次回の常務理事会で検討することが提案された。
 - (2) 解剖組織技能士試験システムの改正に関して、解剖組織技術士資格審査委員会での審議内容の報告があった。
 - (3) 米・ボストンで開催された実験生物学学会 (Experimental Biology) への参加報告があった。
 - (4) ドイツ解剖学会 (Anatomische Gesellschaft) に関する報告があった。
 - (5) 解剖学会全国学術集会の今後の運営に関しての意見交換会を、2012年から2016年の学術集会会頭を集めて本年7月に行うことが報告された。

以上